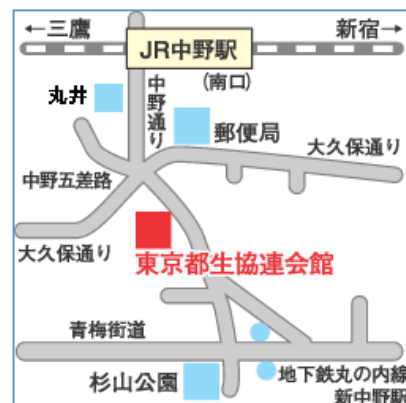


日本公的病院精神科協会の設立の狙い・今後の運動 ～ 松沢病院の今後の方向など ～

講師 齋藤 正彦 先生

(東京都立松沢病院院長・公精協監事)

- 日時 2019年 3月 15日 (金)
18時30分～21時 (受け付け開始 18時～)
- 場所 東京都生協連会館 3F・会議室
中野駅南口から徒歩 10分
(中野区中央 5-41-18)
- 参加費 1,000円
- 定員 100名



停滞していたわが国の精神医療保健福祉はこのところ急速に変化しつつあります。特に精神科病院の経営危機が急速に進みつつあります。当会では、日本の変化は日本独自の道を歩むと考えております。なぜなら精神医療もまた日本の文化であるからです。そのため、各関係者がこれまでの経緯を超えたラウンドテーブルに着く必要があると思っています。その呼び水になればと、それぞれの立場の違う方々をお招きしておおいに語ってもらう特別連続講座を実施中です。

今回は、日本の精神医療の精神科病院の象徴である松沢病院の現院長である齋藤正彦先生をお招きし、急速に変貌しつつある松沢病院の様子、公的病院の果たすべき役割、脱施設化へ向けての戦略など、大いに語ってもらうことになりました。ぜひご参加ください。

金曜の夜を文字どおりゴールデンナイトとしたいと会員一同お待ちしております。

【 2016年の病床利用率 86.2% (80%台は経営の危機ライン) 】
(最低は福島県 76.4% ・ 最高大分県 90.4%)

90%台 5県 (11%) ・ 80%台は 38都道府県 (81%) ・ 70% 4府県 (8%)
(進む在院患者の“二極化” ⇒ 新入院者の減少と短期入院化。長期入院者の高齢化)
在院患者減は現在がどん底 (ピーク) ではありません。これからが本番です

- 主催 五又路塾 代表者 中澤正夫 (代々木病院医師)
- 問合せ 氏家憲章 (社会福祉法人うるおいの里) (080-2251-8780)

※ 定員が満杯になる可能性がありますため、事前申し込みといたします。

----- 申し込み -----

お名前		
所属		
連絡先	TEL e-mail	FAX

Fax 03(5385)2299 きょうされん まで